

4つのタイプのプログラム

本学では協定型インターンシップ以外にも様々なプログラムを全学で展開し、学生の自立とキャリア形成を支援しています。

体験型インターンシップ

企業・行政機関・NPO等において行う、実習期間が1週間～1ヶ月程度の短期体験型学習プログラム。「協定型インターンシップ」はここに含まれます。

アカデミックインターンシップ

学部専門教育の1つの柱として、学部の専門性をいかしたプログラム。あらかじめ内容が決まっており、学部の専門教育として明確にアウトプットが分かる成果重視のインターンシップです。

長期プロジェクト型インターンシップ

高度人材育成を念頭に置いた長期プロジェクト型インターンシップ(期間は少なくとも1セメスター:半年間)で、プログラム形成そのものを学生とともに構築し、明確にアウトプットが分かるプロジェクト型成果重視のインターンシップです。

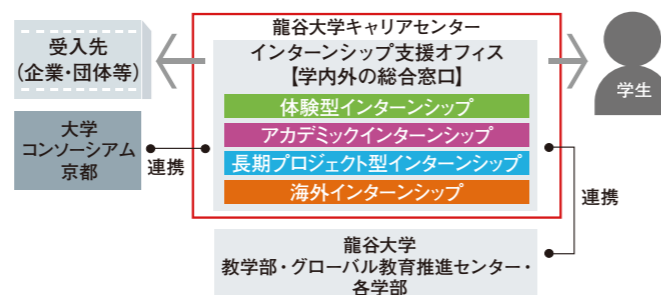
海外インターンシップ

体験型・アカデミック・長期プロジェクト型インターンシップを海外で展開します。

基本理念

龍谷大学で実施するインターンシップは、「社会現場での実体験を通して、大学における学びの意義を認識し、学生の自立とキャリア形成を支援する実践的な教育プログラム」として位置づけ全学的な取り組みとして展開します。

- ①社会現場を踏まえた幅広い知識とスキルの教育
- ②人生観・職業観確立への支援
- ③自主性・自立性・社会性の涵養等を目的としたコーオプ教育



2020 INTERNSHIP PROGRAM

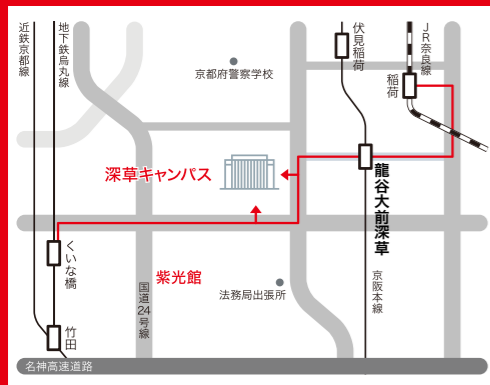
龍谷大学インターンシッププログラム

■お問い合わせ先

龍谷大学キャリアセンター・ インターンシップ支援オフィス(深草)

〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町67
TEL: 075-645-2322
FAX: 075-645-2380
intern@ryukoku.ac.jp
<https://career.ryukoku.ac.jp/>

深草キャンパス

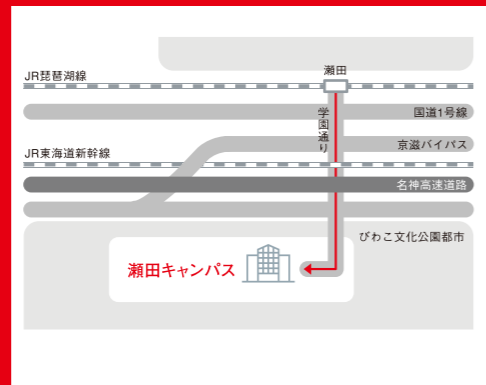


- 地下鉄「京都」駅から竹田方面へ「伏見橋」駅下車、東へ徒歩約7分
- JR「京都」駅から奈良方面へ「稲荷」駅下車、南西へ徒歩約8分
- 京阪「祇園四條」駅から淀屋橋方面へ「龍谷大前深草」駅下車、西へ徒歩約3分

龍谷大学キャリアセンター・ インターンシップ支援オフィス(瀬田)

〒520-2194 大津市瀬田大江町横谷1-5
TEL: 077-544-7265
FAX: 077-544-7264
intern@ryukoku.ac.jp
<https://career.ryukoku.ac.jp/>

瀬田キャンパス



- JR「京都」駅から米原方面へ「瀬田」駅下車、帝産バス約8分

You,
Unlimited



龍谷大学 インターンシップ・プログラム 実習生 受入のお願い

本学では、インターンシップを学生の自立とキャリア形成を支援する実践的な教育プログラムとして位置づけ、全学的に取り組んでおります。

なかでも「協定型インターンシップ」は、本学独自の特色ある教育プログラムです。このプログラムは全21講におよぶ事前・事後学修を本学の専任教員がグループワークを中心とするゼミ形式で運営するもので、学生一人ひとりの社会的・職業的自立へ向け、必要な基盤となる能力や態度を育み、大学での主体的な学修への動機付けと自らの将来設計を促すものとして、2006年度から実施しており、15年目を迎えます。

2019年度は112名の学生が企業・団体様に実習生としてお世話になりました。企業・団体様には2週間程度の夏期休暇期間に行われるインターンシップにご協力いただいております。

インターンシップを受け入れるメリット

就職活動スケジュールの変更によって、学生はインターンシップに参加することで自身のキャリア形成の方向性を見出そうとする傾向が強まっており、インターンシップの重要性は、ますます高まっています。

インターンシップに参加する学生は、学内で実施する事前学修を受講することによって、社会人として役立つビジネスマナーやインターンシップ参加にあたっての社会人としての心構えを学び、その上で実習に臨みます。実習後は、受入先企業・団体様をお招きしての報告会、評価会（懇親会）も実施しており、大学との連携も深めていただくことができます。（※協定型インターンシップ受入企業・団体様にご案内しております。）

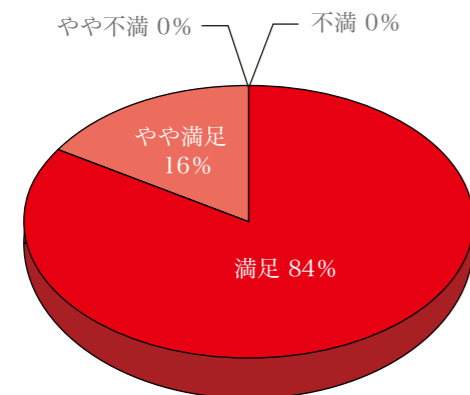
■受け入れ企業（団体）のメリット ～大学・学生と接点を持つことができる～

1. 企業PR
社会貢献の視点だけでなく、学生に企業・団体の果たす役割を理解させ、企業ブランドイメージアップ、知名度、認知度の向上にも結びつきます。
2. 職場の活性化と若手社員の育成
慣習となって気付かない職場の矛盾を発見し、学生からアイデアを得られることもあり、また、学生を指導していただく若手社員の方々の育成、成長に結びつく効果も期待できる等、職場の活性化にもつながります。

【2019年度 協定型インターンシップ 企業・団体様アンケート結果】

Q プログラム全体を通して満足度はいかがでしたか

- ▶ 「満足」「やや満足」を合わせ、100%の企業・団体様にご満足いただきました。
(アンケート回答率85.9%)



ご意見・ご感想(抜粋)

- ・スケジュールも調整しやすい時期で進めていただいているので助かっております。
- ・学生の支援、意欲、目的づくりなど、しっかり行われていると感じました。
- ・大学のサポート体制が万全であり、安心して受入れができます。
- ・弊社では若手社員が講師役を務めており、成長意欲の高い学生と接することで、社員にとっても良い刺激となっています。

龍谷大学 協定型インターンシップ・プログラム

		協定型インターンシップ
開始年度	2006年度～	
実習期間	原則、2週間(実働10日間)以上	
実習時期	夏期休暇期間中(原則、8月19日(水)～9月8日(火))	
企業様の申込期限	2020年2月21日(金)	
学生への告知方法	インターンシップ説明会(2019年度参加者数 約2,000名)	
	龍大就職ナビでの情報掲載	
単位認定	有(ただし、各学部カリキュラムにより異なる)	
選考・マッチング方法	書類および面接選考により大学側にてマッチング	
事前・事後学修	インターンシップ参加前	90分×13回
	インターンシップ参加後	90分×8回

協定型インターンシップ 実習内容の一例

A社(営業系)

日程	内容
●月●日	オリエンテーション・業界説明・会社説明
●月●日	店舗実習・接客業務
●月●日	営業同行
●月●日	営業同行
●月●日	営業同行
●月●日	他大学生とともに擬似会社説明会の体験
●月●日	店舗実習
●月●日	商品管理業務・ピッキング
●月●日	営業体験(配送・交渉)
●月●日	産業フェア見学・総括・意見交換会

(全10日間)

B社(技術系)

日程	内容
●月●日	オリエンテーション・会社説明
●月●日	製造部門の業務説明
●月●日	部品加工
●月●日	部品加工
●月●日	設計部門の業務説明
●月●日	CAD操作
●月●日	CADによる図面作成
●月●日	営業所見学
●月●日	プレゼンテーション準備
●月●日	成果発表会

(全10日間)

C社(スポーツ系)

日程	内容
●月●日	スケジュール説明・会社概要
●月●日	大会準備・企画
●月●日	大会会場設営・搬入
●月●日	開会式・リハーサル準備
●月●日	式典準備・運営
●月●日	抽選会運営・選手誘導
●月●日	式典準備・運営
●月●日	式典リハーサル
●月●日	閉会式運営
●月●日	最終報告会

(全10日間)

2019年度 受入企業・団体(実績) ※敬称略(50音順)

株式会社朝日新聞社
株式会社伊賀の里モクモク手づくりファーム
株式会社エービーシー商会
株式会社エスワイシステム
株式会社老松
近江八幡市役所
応用技術株式会社
株式会社大垣書店
一般財団法人大阪教育文化振興財団 キッズプラザ大阪
一般財団法人大阪スポーツみどり財団
大塚産業マテリアル株式会社
株式会社ODKソリューションズ
株式会社カース・キャリアセンター
影近設備工業株式会社
金井重要工業株式会社(金井ホールディングス)
株式会社川勝總本家
株式会社カンセツ
一般財団法人休暇村協会
京都信用金庫
株式会社京都東急ホテル
株式会社國枝商店(よーじやグループ)

株式会社クラックスシステム
株式会社京滋マツダ
KCJ GROUP株式会社 キッズニア甲子園
小泉産業株式会社(小泉産業株式会社グループ)
公成建設株式会社
株式会社鴻池組
株式会社光明製作所
株式会社三笑堂
株式会社JT B
株式会社ジオリゾーム
生活協同組合コープしが
象印ファクトリー・ジャパン株式会社
總本山醍醐寺
双林株式会社
株式会社ソフトウェアコントロール
高見株式会社(TAKAMI BRIDAL)
但陽信用金庫
株式会社チクマ
株式会社塚脇運送
D-matcha株式会社
寺崎電気産業株式会社

トクデン株式会社
ナビオコンピュータ株式会社
奈良トヨタ自動車株式会社
株式会社ニッセイコム
株式会社日本電機研究所
一般社団法人のあつく自然学校
ノバシステム株式会社
野村證券株式会社 京都支店
株式会社ハートフレンド
株式会社ビーイング
株式会社日立ハイテクソリューションズ
平林金属株式会社
株式会社フジキン
富士ゼロックス京都株式会社
株式会社ホンダカーズ兵庫
株式会社マイスターエンジニアリング 大阪本社
マルホ発條工業株式会社
メニックス株式会社
森トラスト・ホテルズ&リゾート株式会社 琵琶湖マリオットホテル
由利ロール株式会社
学校法人龍谷大学付属平安中学校・高等学校

協定型インターンシップ

2020年度 事前・事後学修(予定)

専任教員がコーディネーターとなり、各学部教育として展開しているゼミ・演習のように責任を持って運営しております。「社会人基礎力」に代表されるような、社会で求められる様々な能力が身につくプログラムとなっています。

	講義名	内容
第1講	オリエンテーション	・学長、インターンシップ支援オフィス長挨拶 ・インターンシップにどのような態度で臨むべきか ・事前、事後学修の概要と諸注意
	龍谷大学の歴史(自校史学修)	自校史を知り「龍大代表」としての自覚を持つ
第2講	事前学修全体ワーク	・コーディネーターからのコメント ・コミュニケーションスキルに関するワークショップ
第3講	事前学修グループワーク①	ゼミ形式によるグループワーク
第4講	事前学修グループワーク②	
第5講	ビジネスマナー①	心構え、第一印象、敬語の使い方、マナー など
第6講	ビジネスマナー②	電話応対(事前訪問時の電話応対)、来客応対、名刺交換 など
第7講	卒業生によるパネルディスカッション	「私にとっての職業。職業を通じて考える人生」
学生による実習先事前訪問(原則、6/29～7/10)		
第8講	講義	キャリア形成と業界研究(基礎編)
第9講	事前学修グループワーク③	ゼミ形式によるグループワーク
第10講	講義	能力検査、性格検査について
第11講	事前学修グループワーク④	ゼミ形式によるグループワーク
第12講	実習直前オリエンテーション	インターンシップの意義、準備、諸注意、リスクマネジメントについて
	結団式	総合コーディネーター・コーディネーターからのコメント
第13講	事前学修グループワーク⑤	ゼミ形式によるグループワーク
インターンシップ実習(原則、8/19～9/8)		
第14講	実習後オリエンテーション	総合コーディネーター 実習後の確認 30分程度
	事後学修グループワーク①	ゼミ形式によるグループワーク
第15講	事後学修グループワーク②	
第16講	事後学修グループワーク③	
第17講	事後学修グループワーク④	
第18講	事後学修グループワーク⑤	
第19講	事後学修グループワーク⑥	
第20講	報告会	・学修成果をプレゼンテーション ・企業・団体担当者様より評価をいただくと共に交流を深める
第21講	評価会	



▲「なぜマナーが必要か」をテーマにグループで話し、単なるノウハウに終始せず、自ら考え答えを見つける主体性を身につけます。



▲実習を通じて喚起された問題意識、関心、経験等を今後の大学での学修課題や人生設計(職業設計)に繋げることで、インターンシップを総括します。



▲実習終了後の報告会で、実習生同士振り返りを共有し、学びの成果を深めます。



▲報告会終了後の評価会。実習受入先のご担当者様との交流を深めます。

実習生インタビュー

参加した学生は確かな成長を実感し、未来に向けて羽ばたきます。



上杉 裕也さん
文学部仏教学科
3年生

インターンシップ先▶小泉産業株式会社

Q. インターンシップに取り組もうと思った動機は何ですか

A.会社という組織の成り立ちや社員の方はどういうモチベーションを持って働いているかを知りたいと思ったからです。そして自分が考える「働く」というイメージと、実際に社員の方が働いている姿を見比べ、その違いがどういうものを理解したうえで就職活動に活かしたいと思いました。仕事に必要な資格・スキル・ビジネスマナーはネットで調べれば分かるのですが、社員の方がどのような思いで働いているかまでをネットだけで知ることは困難です。このインターンシップを通して、実際の現場を少しでも多く知ることが重要であると考えました。

Q. インターンシップを振り返って感じたことや実践して良かったことは何ですか

A.「何事も実際にやってみないとわからない」ことを発見できたことです。小泉産業株式会社ではBtoBメーカーの営業、物流、商品開発、広報の仕事体験させていただきました。いろいろな部署の方と出会い、それぞれの仕事のやりがい、面白い点および苦労した点を教えていただきました。同じ部署の中の仕事といっても日々課題があり、それに真摯に取り組む姿が印象的でした。また、自分に足りていないと思うことにも気づき、今後の課題を見つけることができました。



改井 瑞穂さん
社会学部
コミュニティマネジメント学科
2年生

インターンシップ先▶花王株式会社(経済同友会インターンシップ)

Q. インターンシップに取り組もうと思った動機は何ですか

A.大学に入学してから1年間は、バイトのためのカリキュラムや比較的単位の取りやすい授業選択をしていました。何のために大学へ来たのだらうと思うことが多くありました。また将来に対する漠然とした不安もありました。そんな時キャリアセンターから1、2年生向けの就職活動ではない自分を高めるためのインターンシップが、東京の大手企業で長期間行われるというお知らせを見て「今の自分を変えられるチャンスだ」と思いエントリーしました。

Q. インターンシップを振り返って感じたことや実践して良かったことは何ですか

A.インターンシップが終わってから明らかに以前と変化したことは学ぶ姿勢です。今回の実習で、世の中のあらゆる事柄が連鎖して社会が成り立っているということにあらためて実感しました。そのため、大学での勉強も様々なつながりを得て、社会に出た際の自分の力になるのだと視野が広がり、一つの授業に取り組む姿勢や社会の変化に敏感になりました。

受入企業・団体様からのご意見

2019年度に実習生を受入いただいた企業・団体様に対するアンケートにて頂戴したコメントを紹介します。

(学生との接点創出について)

- ・学生から就職に対する気持ちを聞く機会になっています。
- ・現状として就活サイト等を利用した短期のインターンシップが増えてきていますが、弊社としては長期のインターンシップも積極的に実施したいと考えています。

(大学側の対応について)

- ・事前学修があるため、しっかり目的意識があって参加しているように感じました。
- ・今までスムーズにやり取りをしていただいているので、特に意見や要望はありません。今まで通りのスムーズなやり取りを期待したいと思います。

(社内活性化について)

- ・毎年、熱心な学生との出会いを通じて自分自身も初心に立ち戻ったり、客観的に業務をとらえる機会になっています。
- ・弊社では若手社員が講師役を務めており、成長意欲の高い学生様と接することで、社員にとっても良い刺激となっています。
- ・学生の健全な姿から初心を取り戻し気持ちを改めて頑張ろうという声がありました。
- ・受け入れることにより会社にポジティブな空気が流れます。何より若手社員が学生に教える経験ができたことが大きいです。

(学生について)

- ・「体験」としてだけでなく、「仕事」として真剣に実習に取り組む姿勢や、他の実習生から刺激を受け自分も負けずに成長していきたいという意志が見てとれました。
- ・挨拶やマナーはしっかりしており、社内・社外問わず関係者からの評判は大変良かったです。また、マナー以上に、報告・連絡・相談などの部分もしっかりしていました。
- ・ご自身が苦手としている分野に挑戦してみる姿勢があり、実際に挑戦したことで自信につながったように感じることができました。
- ・例年、インターンシップにお越しいただく学生の目標意識が高く、他インターンシップ生に与える影響が大きいと感じています。
- ・インターンシップに取り組む姿勢・心構え等の事前学修はもちろん、カリキュラムがしっかりとしているため、インターンシップ期間中も各人の目標意識が高いように思います。

(低年次<1・2年生>の受け入れについて)

- ・今年度は2名の受け入れて、尚且つ1・2年生でした。スキルアップを目的とする協定型インターンの若年化に少し心配もありましたが、モチベーションも高く積極的に取り組んでいただけました。
- ・今回初めて2年生を受入れましたが、意欲があり他の実習生にもいい影響を与えていました。

2020年度 年間スケジュール [協定型インターンシップ]

時期	企業・団体	大学	学生
～ 2/21(金)	①『受入承諾書』の提出		
～ 3/19(木)	②実習内容の登録		
4/7(火)～4/10(金)		インターンシップ説明会にて プログラム説明	
5月上旬			出願
5月下旬		選考・マッチング	
6月中旬		インターンシップ 実習生カードの送付	
～ 6/23(火)	③『実習日程表』の提出		
7月上旬	④協定の締結		
6/29(月)～7/10(金)			⑤事前訪問
8/19(水)～9/8(火)	⑥インターンシップ実習(実働10日間以上)		
実習終了後	⑦『実習評価書』の提出		
9月11日(金)	⑧報告会・評価会		

①『受入承諾書』の提出…メール

本パンフレットに同封しております。
『受入承諾書』をご提出いただいた企業・団体様に、以降の詳細なお手続き内容についてご案内いたします。

②実習内容の登録…WEB登録

龍谷大学WEBサイトから実習内容(受入部門・実習内容・条件など)をご登録ください。
※WEBサイトにログインいただく際のユーザ名(ID)を郵送にて、パスワードをメールにて送付いたします。
※学生への公開は4月上旬となります。

③『実習日程表』の提出…メール

実習生の決定後、『実習日程表』のフォーマットをメールにて送付いたします。
※貴団体独自の様式でご提出いただいても結構です。
※プログラム策定にあたって不明な点がございましたら、担当者にご相談ください。

④協定の締結…郵送

実習生の決定後、大学より『協定書』を2部郵送いたしますので、ご捺印のうえ、1部を大学にご返送ください。

⑤事前訪問

実習生自身が事前連絡のうえ、ご担当者様を訪問させていただきます。
可能な範囲で以下の点をご確認・ご指導いただきますと、実習中のトラブルが減るとともに高い実習効果が期待できます。
○実習期間・就業時間・休日、○目標値(達成目標)の設定、○実習内容、○準備が必要な物品、
○服装・身だしなみ、○実習部署ご担当者様との顔合わせ、○職務規程 など
※事前訪問の際、学生が『誓約書』および『課題レポート』を持参しますので、お受け取りください。
※事前説明会を別途予定されている場合は、期間外に設定していただいても結構です。

⑥インターンシップ実習(実働10日間以上)

原則として、本学の夏期休業中(8/19(水)～9/8(火))に2週間程度(実働10日間)にてお願いしております。
また、実習期間中、実習生は毎日の実習内容や感想等を記入した『日報』を受入先ご担当者様(実習部署ご担当者様)に提出いたします。
本人へのアドバイス等をご記入・ご捺印いただき、実習生にお渡しください。
※日報は原則として、実習終了後、実習生から大学へ提出いたします。

⑦『実習評価書』の提出

「実習評価書」は、日報に含まれますので、実習最終日に学生にご提出ください。

⑧報告会・評価会

学内で開催する報告会では実習生の成果報告をお聞きいただき、評価会にて実習生・コーディネーターと情報交換いただきたいと思いますと考えております。